

発刊記念! 自転車こいで全国から

# 小学生が描いた昭和の風景展

2022年3月10日[木]~3月27日[日]

開館時間：9:30 ~ 17:30 ※入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）

観覧料：一般100円 / 高校生以下無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方、およびその介助者1名は無料

田川市美術館

主催：「小学生が描いた昭和の日本」を展覧する会 協力：田川市美術館



田川市美術館  
TAMAKAWA MUSEUM OF ART

1969(昭和44)年、一人の青年・鈴木浩が北海道から沖縄まで、1年かけて約120の小学校を自転車で訪ね、多くの子どもたちの絵を集めました。地域の自然や風景、人々の生活や働く姿、学校生活の様子など、子どもたちが描いた昭和の日本がそこにありました。2022年1月、50年間大切に保管されていた絵が『小学生が描いた昭和の日本』として発刊されました。

これを記念して、本書に収録した500点あまりの絵を全国に先駆けて展示します。子どもたちが描いた絵から見てくるのは何だろうか。あの時代と今の時代何が変わり、何が変わらなかったのだろうか。きっと絵それ自体が私たちに語りかけてくれるでしょう。子どもの心を通してふれる昭和の日本をぜひお楽しみください。

# 小学生が描いた 昭和の風景展

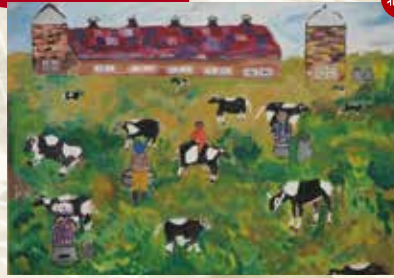
自転車こいで全国から



プロフィール 鈴木 浩 (すずきひろ)

1945年、岐阜市に生まれる。1969～1970年、児童画を集めて自転車で日本全国の小学校を訪問し、「足で集めた児童画展」を開催する。1971年～1984年、映画制作会社に勤務し、企業PR映画や記録映画、教育映画を演出する。1984年独立し、「暮らしの映像社」を始め、現在にいたる。主な作品は、テレビ番組『心のともしび』2000年～2006年(YBU心のともしび運動本部)など。

\*「ウェブサイト児童画展 ありがとうの絵」  
(<https://kodomonoe.net/>)でも  
子どもたちが描いた絵を観覧することができます。



北海道



東北



中部



中国



九州



四国



沖縄

発刊記念!

## 『小学生が描いた昭和の日本』

(編著者:鈴木浩/出版社:石風社)

本書は、当館ミュージアムショップにてお求めいただけます。

## トークイベント

### 「自転車で児童画収集 北海道から沖縄まで」

令和4年3月20日(日)

時間: 13:30～14:30

会場: 田川市美術館 AVホール

参加費: 無料(本展の鑑賞券が必要です)  
30人程度 ※先着順

申込方法: 3月1日(火)11:00～

お電話のみで受付いたします。  
田川市美術館(0947-42-6161)までお電話ください。

鈴木浩(『小学生が描いた昭和の日本』編著者)

×

福元満治(出版社・石風社代表)

×

黒田征太郎(イラストレーター)

★天神・博多方面から  
【バス】  
天神高速/バスターミナル(福岡県立大学)  
▼  
石炭記念公園口下車 徒歩約8分  
【電車】  
博多駅(福北ゆたか線)  
▼  
新飯塚駅(後藤寺線)  
田川後藤寺駅下車 タクシー約8分  
★小倉方面から  
【電車】  
小倉駅(日田彦山線)  
田川伊田駅下車 タクシー約6分



■お問い合わせ  
〒825-0016 福岡県田川市新町 11-56 TEL: 0947-42-6161 <https://www.tagawa-art.jp/>

